

刺し網でハブを減らす方法

<詳しくはホームページ <http://naha.cool.ne.jp/snake-habu/> 参照>

1. 材料の網

網目が25 mmの漁網などの網が最適 (網目が20 mmから30 mmの間で捕獲可能)

糸の太さや色は問わないが、糸は細い方が扱いやすい

廃棄用で破れがあっても使える

防鳥ネットやゴルフ用ネットでも可

刺し網法ではヒメハブも捕れるが、サキシマハブと
タイワンハブは2011年時点では捕れない

2. 設置場所と注意

ハブの目撃がある屋敷や畑と林との間が最適 (ハブの目撃の大半は林や草地から20 m以内)

草が茂らない日陰や林内が適所、石積みの崖面にも設置可能

絡まったハブが生きていることがあるため、人通りがある地点は避ける

設置者が安全性の責任を持つ 危険なら近くの林内に設置

網は侵入予防用ではなく、捕獲用のため、屋敷の境界や石崖の全面を被う必要はない

網は、地表から約20 cmの高さがあればハブを捕獲でき、盛り上げた状態で地表に延ばしておいてもよいが、草や枯葉に埋もれなくする必要があるので、金属の枠に固定する次の方法が、使いやすい

3. 長さ約1 mの刺し網

設置が容易で、邪魔にならないため、もっとも使いやすい

屋敷あたり、4枚から6枚と多めに設置

材料(1枚あたり)

網:長さ約100 cm, 幅約60 cm(網目を広げた大きさ)

網固定用枠:ワイヤーメッシュか針金

ワイヤーメッシュ(マス目15 cm)は、長さ60 cmから150 cm, 幅30 cmから45 cm(4辺に突起付き マス目途中での切断等ができる)

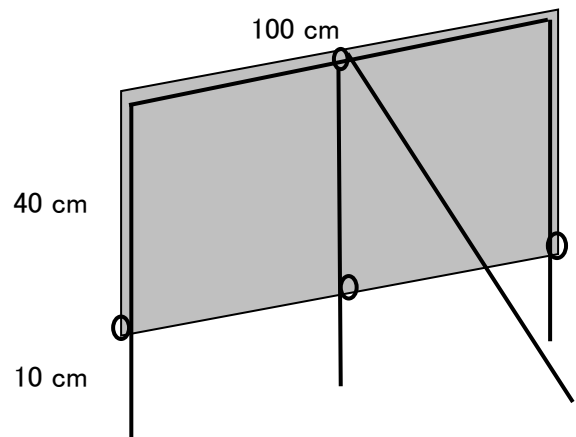
網を1重か2重に緩く張り、突起を刺して地面に立てる

針金の場合、長さ約2 mと1.2 mの2本(直径約 2 mm)

長さ2 mの針金の中央の1 mに網の長辺をとおり、両側の50 cmを直角に曲げ網の短辺をとおり、中央を1.2 mの針金で「へ」の字に補強し、針金下部を地面に刺す



ワイヤーメッシュ(図は長さ75 cm, 幅30 cm)に網を張る



外枠の針金で網を張り中央の針金で補強

設置と管理

倒れやすければ、木に固定するか、L字型に設置 石積みの崖面に垂直方向に差してもよい

網は一部が破れても効果を持つ

点検は春と秋の年2回程度で、枯葉等を取り除き地表の骨を探す

ハブの捕れかた

餌を食べた大きめのハブが、多い地点では1年間で1匹以上捕獲(4枚から6枚あたり)

ただし、地表に落ちた骨は見つけにくい

1, 2年間捕れなければ、数メートル移動させる

4. その他の刺し網

長さ10 m級:石積みの崖に被せるか、木の枝や柵から地面まで垂らす(可能なら長さ数十メートルを張る)

石積みの穴用:直径約20 cmの金網柵に網を張り、石積みの穴内に固定